

## エネルギー・流体工学分野で技術者(研究・開発)をめざす

自動車, 航空機, 鉄道車両, 船舶等の交通機械におけるエンジンのエネルギー科学, 推進に関する基礎知識および応用能力を習得します。また, 交通機械の移動における流体の流れ, 制御に関する基礎を習得し, 抵抗軽減, 低騒音, 空気・水の環境保全への応用につなげます。それらに関する知識を習得するため, エネルギー科学特論Ⅰ・Ⅱ, 推進工学特論Ⅰ・Ⅱ, 流体科学特論Ⅰ・Ⅱ, 流体システム特論Ⅰ・Ⅱ, エネルギー・流体工学特別演習・実験を配置して, 教育に当たっています。交通機械関連, 環境保全関係企業での開発・研究, 設計, 生産技術に貢献する職業をめざす学生の履修モデルです。

● 選択科目   ● 選択必修科目   ● 必修科目

専修分野	授業科目
エネルギー・流体工学	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エネルギー科学特論Ⅰ</li> <li>● エネルギー科学特論Ⅱ</li> <li>● 推進工学特論Ⅰ</li> <li>● 推進工学特論Ⅱ</li> <li>● 流体科学特論Ⅰ</li> <li>● 流体科学特論Ⅱ</li> <li>● 流体システム特論Ⅰ</li> <li>● 流体システム特論Ⅱ</li> <li>● エネルギー・流体工学特別演習・実験ⅠA</li> <li>● エネルギー・流体工学特別演習・実験ⅠB</li> <li>● エネルギー・流体工学特別演習・実験ⅡA</li> <li>● エネルギー・流体工学特別演習・実験ⅡB</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アドバンスト・インターンシップ*</li> <li>● 科学技術英語*</li> <li>● 計算力学特論*</li> <li>● 計算科学特論*</li> <li>● 特別講義Ⅰ*</li> <li>● 特別講義Ⅱ*</li> </ul>

\* 関連科目：名城大学大学院学則中、当該専攻に関連科目として規定されている科目

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

## 材料・構造工学分野で技術者(研究・開発)をめざす

自動車, 航空機, 鉄道車両, 船舶などの交通機械は高速, 大量輸送が使命であり, そのためには安全性, 環境適応性を確保したうえで高強度, 高剛性かつ軽量でなければいけません. 本分野ではそれらに関する知識を習得するため, 講義科目として材料科学特論 I・II, 構造力学特論 I・II, 軽量構造学特論 I・II, 適応構造システム学特論 I・II があり, それらに対して材料・構造工学特別演習・実験を配置することによって教育内容の充実を図っています. 交通機械関連企業での研究・開発, 設計, 生産技術に貢献する職業をめざす学生の履修モデルです.

● 選択科目   ● 選択必修科目   ● 必修科目

専修分野	授業科目
材料・構造工学	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 材料科学特論 I</li> <li>● 材料科学特論 II</li> <li>● 構造力学特論 I</li> <li>● 構造力学特論 II</li> <li>● 軽量構造学特論 I</li> <li>● 軽量構造学特論 II</li> <li>● 適応構造システム学特論 I</li> <li>● 適応構造システム学特論 II</li> <li>● 材料・構造工学特別演習・実験 I A</li> <li>● 材料・構造工学特別演習・実験 I B</li> <li>● 材料・構造工学特別演習・実験 II A</li> <li>● 材料・構造工学特別演習・実験 II B</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アドバンスト・インターンシップ *</li> <li>● 科学技術英語 *</li> <li>● 計算力学特論 *</li> <li>● 計算科学特論 *</li> <li>● 特別講義 I *</li> <li>● 特別講義 II *</li> </ul>

\* 関連科目: 名城大学大学院学則中、当該専攻に関連科目として規定されている科目

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。

## 制御・システム工学分野で技術者(研究・開発)をめざす

自動車, 航空機, 鉄道車両等の交通機械では, それらを運転する人と交通機械との間で適切な操作指令や情報の授受が行われなければなりません. また, 交通機械は運転者の指令に従って適切に制御されなければなりません. これらの基礎を学ぶため, 本分野では, 講義科目: マンマシンシステム学特論 I・II, 知的制御特論 I・II, 自動車システム学特論 I・II, 演習・実験科目: 制御・システム工学特別演習・実験を設けて教育に当たっています. 交通機械関連企業での研究・開発・設計・生産・試験・保守に貢献する職業をめざす学生の履修モデルです.

● 選択科目   ● 選択必修科目   ● 必修科目

専修分野	授業科目
制御・システム工学	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マンマシンシステム学特論 I</li> <li>● マンマシンシステム学特論 II</li> <li>● 知的制御特論 I</li> <li>● 知的制御特論 II</li> <li>● 自動車システム学特論 I</li> <li>● 自動車システム学特論 II</li> <li>● 制御・システム工学特別演習・実験 I A</li> <li>● 制御・システム工学特別演習・実験 I B</li> <li>● 制御・システム工学特別演習・実験 II A</li> <li>● 制御・システム工学特別演習・実験 II B</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アドバンスト・インターンシップ *</li> <li>● 科学技術英語 *</li> <li>● 計算力学特論 *</li> <li>● 計算科学特論 *</li> <li>● 特別講義 I *</li> <li>● 特別講義 II *</li> </ul>

\* 関連科目: 名城大学大学院学則中、当該専攻に関連科目として規定されている科目

※履修モデルはあくまでも一例です。

※カリキュラムは変更となる場合があります。

※記載された科目のみでは修了要件を満たしていない場合があります。履修の際は、カリキュラム表などで確認のうえ、履修をしてください。